

GLM が軽規格 EV「MiMoS」を用いた実証実験第二弾を実施 東京都檜原村で移動式ソーラー充電スタンドと合わせ



電気自動車(EV)の開発を行う GLM 株式会社(所在地：京都府京都市)は、この度軽規格 EV「MiMoS」を使用した実証実験の第二弾として、東京都檜原村での運用を期間限定で開始いたしました。

首都東京都でありながら山間部に位置する檜原村では、限られた公共交通や衰退する2次交通への対応、また環境問題への対応など、多くの課題の解決へ向け様々な取り組みを模索されています。そんな中、エネルギー問題の課題解決へ向け、移動型オフィスとして使用するキャンピングトレーラーにソーラーパネルと大容量リチウムイオンバッテリーを搭載し、EV専用の200Vの普通充電器をあわせもった移動式のEV充電スタンド「モバイル SS・ヒノハラ (SS=サステイナブル・ステーション)」を開発。太陽光と家庭用電力を効率よく合わせた発電、蓄電、利用などを模索することに合わせ、弊社取り扱いの「MiMoS」を利用して2次交通手段の実証実験を行うことになりました。



【モバイルSSの狙い】

東京で唯一の村として知られる〈檜原村〉は、山間部に位置することもあり、日照時間が短くソーラーパネルの発電量だけではEVの充電をはじめ、すべての電力を賄うことには限界が考えられます。そこで、不足した電力は100Vの家庭用電力の夜間電力などを使い、トレーラーのバッテリーに外部電力として充電し補填する計画です。わずかながらの発電量であっても、発電した電力を有意義に使うことに意味があり、今、実現可能な技術を駆使してSS=サステナブルステーションを運用することの大切さを訴求していきます。今後、モバイルSS・ヒノハラを通して、移動式の充電スタンドの受注や相談をはじめ、再生可能エネルギーへの意識をより現実的な視点に変えていくことが狙いです。



※「MiMoS」は東京都檜原村のワーケーション施設「Village Hinohara」にてご利用体験が可能です。以下リンクをご参照ください。

「Village Hinohara」

(檜原村が建物を設置し、一般社団法人アナドロマスが施設を借り受けて運営する、公設民営のプロジェクト)

住所：東京都西多摩郡檜原村本宿 790-2

アクセス：JR 武蔵五日市駅より西東京バスで 25 分／中央道八王子 IC から車で約 40 分

<https://villagehinohara.tokyo>

【利用体験予約フォーム】 https://calendly.com/village_tyo

【実施期間】 11 月下旬～1 月上旬の予定



----- 軽自動車規格コンパクト EV 「MiMoS」 の詳しい情報はこちら -----

<https://glm.jp/products/mimos>



GLM 会社概要

社 名	GLM 株式会社	設 立	2010 年 4 月 1 日
代 表	代表取締役 宮下 祐一		
業 種	自動車製造	連 絡 先	以下担当者までご連絡ください
本 社	京都府京都市伏見区竹田向代町 74 番 3		

報道各位からの問い合わせ先

GLM (株) マーケティング・広報担当:小林
 tel. 080-3407-3856 mail: h.kobayashi@glm.jp
 〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町 74-3